

映画作家

大林 宣彦監督とローランド創業者 梶 郁太郎との対談

ピアニスト 浦山 純子のピアノ演奏による

柏木 俊夫作曲 ピアノ組曲「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」

音楽と映像、そして 芭蕉俳句とのコラボレーション



大林 宣彦 Nobuhiko Obayashi



浦山 純子 Junko Urayama



梯 郁太郎 Ikutaro Kakehashi

第1部にはスペシャルゲストに、映画作家として多岐にわたる活躍をみせる
大林 宣彦氏をお招きし、芭蕉、そして音楽と映像について、ローランド創業者であり、
この度、The Recording Academy®から「Technical GRAMMY® Award」を受賞した
梯 郁太郎との対談を予定。

そして第2部では、作曲家 柏木 俊夫氏が1949年に完成したピアノ組曲
「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」に深くインスピアされた
ピアニスト、浦山 純子氏によるピアノソロを、田渕 あきら氏の朗読と映像とともににお届けする。
浦山氏のピアノソロと柏木氏の作曲の根幹を成す芭蕉の俳句、そして映像との三位一体の
コラボレーション、この画期的な手法で、柏木 俊夫氏による芭蕉の世界観を描いていく。
今宵、ピアノ音楽がさらなる革新のもと、未来の扉を大きく開けるときが来た…

日時 2013年3月7日(木) 18:30開場 19:00開演

会場 渋谷区大和田伝承ホール 東京都渋谷区桜丘町23-21

入場料 一般:3,000円 学生:2,000円 [全席自由]
(税込)
※未就学児の御入場はご遠慮いただいておりますので、予めご了承ください。

一部 映画作家 大林 宣彦 × ローランド創業者 梶 郁太郎
対談「音楽と映像によるイノベーション」

二部 ピアニスト 浦山 純子(ピアノソロ演奏)「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」
田渕 あきら(朗読・俳句披講)

司会 アナウンサー
十文字学園女子大学特任教授
好本 恵



作曲
柏木俊夫

[主催] 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団
[後援] 株式会社NHKグローバルメディアサービス
[協力] ローランド株式会社

[使用楽器]
V-Piano GRAND

柏木 俊夫作曲 ピアノ組曲 「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」 音楽と映像、そして芭蕉俳句とのコラボレーション

出演 profile [プロフィール]



映画作家
大林 宣彦
おおばやし のぶひこ

1938年広島県尾道市生まれ。3歳の時に自宅の納戸で出合った活動写真機で、個人映画の製作を始める。上京後、16mmフィルムによる自主製作映画『EMOTION=伝説の午後』いつか見たドラキュラ』が、画廊・ホール・大学を中心に上映されジャーナリズムで高い評価を得る。『喰べた人』(63)はベルギー国際実験映画祭で審査員特別賞を受賞。この頃からテレビコマーシャルの草創期に本格的に関わり始め、チャールズ・ブロンソンの『マンダリン』、ソフィア・ローレン、カトリーヌ・ドヌーヴなど外国人スターを多数起用、その数は2000本を超える。

1977年『HOUSE／ハウス』で商業映画にも進出。同年の『睡中の訪問者』と共に『ブルーリボン新人賞』を受賞。故郷で撮影された『転校生』(82)『時をかける少女』(83)『さびしんぼう』(85)は『尾道三部作』と称され親しまれている。『異人たちとの夏』(88)で毎日映画コンクール監督賞、「北京の西瓜」(89)で『山路ふみ子監督賞』、「ふたり』(91)で『アメリカ・ファンタスティックサターン賞』、『青春デジケデケデケ』(92)で『平成4年度文化庁優秀映画作品賞』、『SADA』で『ペルリン国際映画祭国際批評家連盟賞』、宮部みゆき原作『理由』(04)で『日本映画批評家大賞・監督賞』、『藤本賞奨励賞』を受賞。2011年3月11日を受けた最新作『この空の花 一長岡花火物語』は2012年全国順次公開中。2004年春の紫綾褒章受章、2009年秋の旭日小綬褒章受章。



ピアニスト
浦山 純子
うやま じゅんこ

4歳よりピアノを始め、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、ボーランド国立ワルシャワショパン音楽院に留学。1995年ラヴィーク国際ピアノコンクール優勝、及び最優秀ショパン賞(ボーランド)、1998年ボリーノ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)をはじめとする数々の賞を受賞。1996年よりロンドンを本拠地とし、名門ウイグモアホールにてデビュー。ヨーロッパ各国でソリストтал、コンサートホール、音楽祭にて演奏。2005年より東京に拠点を移し、雅楽師・東儀秀樹氏とのジョイントコンサート、ホロヴィツのピアノによるスタンウェイ・ガラコンサート、お話音楽館など、多彩な企画を含めた演奏活動を展開中。また、スタンウェイ・ジャパン(株)の『Young Virtuoso Series』のアーティストとしても全国各地でコンサートを行うほか、国内外で教育・福祉関係のためのチャリティー活動にも力を入れている。2009年よりスタートさせた「心の旅への誘い」シリーズでは、「奥の細道」から着想された「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」を取り上げる独創的な企画で注目を集め、2012年6月にソニーミュージックダイレクトより4枚目のCD『Voyage』がリリースされた。浅野繁、奥村洋子、安川加壽子、アンジェイ・ステファンスキ、スラミタ・アロフスキ各氏に師事。スタインウェイ・アーティスト。www.junkourayama.com



ローランド創業者 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団理事長
梯 郁太郎 かけはし いくたろう

公益財団法人ローランド芸術文化振興財団理事長、ローランド(株)特別顧問。1930年大阪生まれ。「54年カケハシ無線(電器店)を開業」60年に電子楽器製造会社のエース電子工業(株)を、「68年に米国ハモンド社との合弁会社を設立」72年両社を退社し、ローランドを設立。世界初を含む革新的な電子楽器を次々と発表。'91年には米国バークリー音楽大学から名誉音楽博士号を授与される。'94年に財団法人ローランド芸術文化振興財団(現公益財団法人ローランド芸術文化振興財団)を設立して、理事長に就任。「00年電子楽器の技術革新による音楽界への多大な貢献により、アメリカHollywood's RockWalkに手形で署名を残す」。'02年世界各楽器の音楽／楽器専門誌で構成されるm.p.aの「Lifetime Achievement Award」を受賞。「05年には、電子楽器の開発で世界に貢献し、また中国国内の電子楽器の普及に大きな影響を与えたその功績に対し、中国の中央音楽学院より名誉教授称号を授与される。音楽家以外の人物に同校の名誉教授号が授与されるのは初めてあり、日本人としては指揮者の小澤征爾氏に次いで二人目の授与となった」。'08年には、音楽業界と音楽教育への貢献が称えられ、英国グラモーガン大学より名誉教授の称号を授与される。著書「ライフルワークは音楽～電子楽器の開発にかけた夢」(音楽之友社)は、アメリカ、ドイツ、台湾、中国でも出版。2014年、メーカーを問わない電子楽器の共通規格として「MIDI(ミディ)」の制定に尽力し、MIDI規格が、その後の音楽産業の発展に貢献したことが評価され、The Recording Academy®から「Technical GRAMMY® Award(テクニカル・グラミー・アワード)」を受賞。モットーは「シンプル&ストレート」。



田渕 あきら
たぶち

昭和29年、ラジオオ神戸放送劇研究会からアナウンサー室へ4年間、昭和33年、関西TV開局手伝いを経て大阪ガス專属タレント契約4年間(アベック料理コンテスト、チャリティーアワー公会、生コマーシャル等)。昭和38年、上京、フリーランスとして各局の番組、ナレーション等。昭和42年、神戸サンTV開局と同時に「児童教育番組・赤いはづく、ワイドショー・午後の貴方に他」。昭和58年、有限会社さんく、せ設立。今年で30年を迎える。大阪城400年祭イヴェント、御堂筋パレード、TV番組制作等、プライダル事業(ホテルオークラ神戸、帝国ホテル大阪他)。平成元年、平安神宮・紅しだれコンサート、大覚寺觀月のタペコンサート、ラジオ時代に担当した民話の世界に捉われ続け、年に1回催す公演にローランドの録音機、編集機、ユーストーム配信などご縁を頂いている。



作曲家
柏木 俊夫
かしわぎ としお

1912年兵庫県洲本市生まれ。1932年東京音楽学校(現・東京藝術大学)新設の作曲科(本科作曲部)に第一期生として入学、信時潔、クラウス・ブリンクスハイム両氏に師事。引き続き1936~1938年研究科作曲部、1938~1940年聽講科指揮法部にて研鑽を積む。1945年4月空襲で被災し家屋を焼失、母の実家である岡山県津市に疎開。1947年1月東京へ戻り、都立上野高校に復職する。その後、東京学芸大学助教授、教授、東京藝術大学講師、東邦音楽大学講師、千葉経済大学教授を歴任。音楽研究、教育にも貢献した。1976年より東京学芸大学名誉教授。主要作品は、ピアノ組曲「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」(1949年完)、1951年毎日コンクール入選(初演)、1952年イタリア・ジュノバ国際作曲コンクール2位入賞、音楽之友社刊「古式による弦楽組曲(1938年)」、その他にも、独唱曲集、合唱曲集など。出版された著書・訳書も多岐にわたる。1985年勲三等瑞宝章。1994年12月7日死去。



アナウンサー
十文字学園女子大学
特任教授

好本 恵
よしもと めぐみ

1976年NHKアナウンス室入局。81年からフリー。現在NHKの「TVシンボジウム」などで、医療、健康、暮らし、教育など、様々なテーマのシンポジウムでコーディネーターを務める。十文字学園女子大学の他、立正大学、NHK文化センターなどの講師を務める。2010年からは、LLP「ことばの杜」の活動に参画。著書に「話しことばの花束」「俳句とめぐりあう幸せ」(共にリヨン社)などがある。

入場料(税込) 一般3,000円 学生2,000円 全席自由

申し込み方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

①「ローランドコンサート事務局」宛に電話もしくは申込書にもれなくご記入の上FAXにて。

TEL:045-582-7920 (受付時間 10:30~18:00／土・日・祝を除く)
FAX:045-584-8376

②公益財団法人ローランド芸術文化振興財団ホームページより。<http://www.roland.or.jp/>

*お申込み後、銀行振込もしくは郵便振替にて入場料をご入金ください。ご入金を確認次第、入場券をお送りいたします。

【銀行振込】みずほ銀行 四谷支店(普)1045017 口座名:ローランドコンサート事務局
【郵便振替】00190-9-686446 口座名:ローランドコンサート事務局

*銀行振込の場合は依頼人の後ろに、郵便振替の場合は通信欄に、必ず「奥の細道」と明記してください。

*定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、お早めに申し込みください。

お問い合わせ

ローランドコンサート事務局(株式会社ピーアール・アベニュー内)

TEL:045-582-7920 (電話受付10:30~18:00／土・日・祝を除く) / FAX:045-584-8376

(公財)ローランド芸術文化振興財団は、(株)ピーアール・アベニューに、事務局を業務委託しております。



渋谷区大和田伝承ホール

東京都渋谷区桜丘町23-21

■渋谷駅から徒歩5分

■ハチ公バス(恵比寿・代官山循環 夕やけこやけルート)

[4-3][31-2]「文化総合センター大和田」下車

切り取らずにこのままFAXしてください。

柏木 俊夫作曲 ピアノ組曲「芭蕉の奥の細道による気紛れなバラフレーズ」

音楽と映像、そして芭蕉俳句とのコラボレーション [FAX申込書]

ふりがな	TEL.	()
ご氏名	FAX.	()
様		
ご住所(入場整理券送付先) 〒		
勤務先・所属楽器店または音楽教室		
本コンサートの開催をどこでお知りになりましたか?	<input type="checkbox"/> ウェBSITE	<input type="checkbox"/> メール・ニュース
	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 楽器店
		<input type="checkbox"/> 音楽教室
		<input type="checkbox"/> 知人より()

*ご記入いただいた個人情報につきましては、当財団規定に基づき、適切かつ厳重に管理いたします。<http://www.roland.or.jp/privacy/>

FAX.045-584-8376